

3

以上のことあなたがたかに話した。わたしたちは、ダビデのひこばえ、その一族輝く明けの明星である。¹⁷ 「靈」と花嫁とが言う。「来てください。」これを聞く者も言うがよい。「来てください」と渴いている者は来るがよい。命の水が欲しい者は、価なしに飲むがよい。¹⁸

この書物の預言の言葉を聞くすべての者に、わたしは証しする。これに付け加える者があれば、神はこの書物を書いてある災いをその者に加えられる。¹⁹ また、この預言の書の言葉から何か取り去る者があれば、神はこの書物を書いてある命の木と聖なる都からその者が受けれる分を取り除かれる。²⁰ 以上すべてを証してを証する方が、言われる。「然り、わらしまさぐに来る。アーメン。主イエスよ、来てください。

最後の者。初めてであり、終わりである。
命の木に対する権利を与えられ、門を通つて都に
入れるように、自分の衣を洗い清める者は幸いである。
15 犬のようなる者、魔術を使う者、みだらなことをする者、人を殺す者、偶像を拜むる者、すべて偽りを好み、また行つ者は都の外にいる。
16 わたし、イエスは使いを遣わし、諸教会のために

に。
21 主イエスの恵みが、すべての者と共ににあるよう

珠^しでできていた。都^{みやこ}の大通りは、透^{とお}き通^つったガラスの
ような純^{じん}金^{きん}であつた。
22 わたしは、都^{みやこ}の中^{なか}に神殿^{じんてん}を見なかつた。全能者^{ぜんのうしゃ}で
ある神^{かみ}主^{ぬし}と小羊^{こひつね}が都^{みやこ}の神殿^{じんてん}だからである。この神殿^{じんてん}
には、それを照らす太陽^{たいよう}も月^{つき}も、必要^要でない。かの
栄光^{えいこう}が都^{みやこ}を照らしており、小羊^{こひつね}が都^{みやこ}の明かりだからである。
ある。24 諸國^{しょくこく}の民^{みん}は、都^{みやこ}の光^{ひかり}の中^{なか}を歩^{ある}き、地上^{じょうじ}の王^{おう}たる
ちは、自分たちの栄光^{えいこう}を携^なえて、都^{みやこ}に来る。25 都^{みやこ}の門^{もん}
は、一日中^{じゆうちゆう}決^きして閉^しざれない。そこには夜^{よる}がないから
である。26 人々は、諸國^{しょくこく}の民^{みん}の栄光^{えいこう}と營^なれとを携^なえて都^{みやこ}に
て都^{みやこ}に来る。27 しかし、汚れた者^{ひと}はまわしないことと
偽りを行^はう者はだれ一人^{ひとり}、決して都^{みやこ}に入れないと
命^{いのち}の書^しに名が書^かいてある者^{ひと}だけが入れる。
1 天使^{てんし}はまた、神^{かみ}主^{ぬし}と小羊^{こひつね}の玉座^{ぎょくざ}から流れ出^でて、
水晶^{しづか}のよう^に輝^かく命^{いのち}の水^{みず}の川^{かわ}をわたしに見せ
いた。2 川は、都^{みやこ}の大通り^{おおどり}の中央^{ちゅうおう}を流れ、その两岸^{ふたがわ}には
命^{いのち}の木^木があつて、年に十二回^{じゅうに}実^みを結^{むす}び、毎月^{まいげつ}美^{うつく}みのみの病^{びやく}を治^さす。
3 もはや、呪われるものは何^{なん}につない。神^{かみ}主^{ぬし}と小羊^{こひつね}の玉座^{ぎょくざ}
座^ざが都^{みやこ}にあつて、神^{かみ}の僕^僕たちは神^{かみ}を礼^{れい}拜^{ぱい}し、4 御顔^{ごほ}を
仰^あぎ見る。彼らの額^{ひたい}には、神^{かみ}の名^なが記^きされてい^る。
5 もはや、夜^{よる}はなく、ともし火^ひの光^{ひかり}も太陽^{たいよう}の光^{ひかり}も要^要ら
ない。神^{かみ}である主^{ぬし}が僕^僕たちを照らし、彼らは世^{よの}々^{よの}限り
なる都^{みやこ}エルサレム^{エルサレム}が神^{かみ}のものと離れて、天から下つて
来るのを見せた。日本^{にっぽん}は神^{かみ}の聖地^{せいち}に輝いていた。その

22

ある。24 諸國の民は、都の光の中を歩き、地上の王たる者たち、自分たちの栄光を携えて、都に来る。25 都の門は、一日中決して閉されない。そこには夜がないからである。26 人々は、諸國の民の栄光と誉れとを携えて都に来る。27 しかし、汚れた者は、まわしいことと偽りを行ふ者はだれ一人、決して都に入れない。小羊の命の書に名が書いてある者だけが入れる。

キリストの再臨

なく統治するからである。

する。玉座に座つておられる方が、「見よ、わたくしは物を分析してゐる」と書き記せ。これらの言葉は信頼できる、また眞実である」と言われた。6 また、わたしに言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。渴いている者は、命の水の泉から価値なしに飲ませよう。7 勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐ。わたしはその者の神になり、その者はわたしの子となる。8しかし、おくびょうな者、不信仰な者、怠慢わしい者、命を殺すもの、みだらな行いをする者、魔術を使う者、偶像を拝む者、すべてうそを言う者が、このような者たちに対する報いは、火と硫黄の燃え渡る池である。それが、第二の死である。」

輝きは、最高の宝石のようであり、透き通した碧玉の
ようであつた。12 都には高い大きな城壁と十二の門
があり、それらの門には十二人の天使がいて、名が刻
みつけてあつた。イスラエルの子らの十二部族の名で
あつた。13 東に三つの門、北に三つの門、南に三つの
門、西に三つの門があつた。14 都の城壁には十二の土
台があつて、それには小羊の十二使徒の十二の名が刻
みつけあつた。

15 わたしに語りかけた天使は、都とその門と城壁と
を測るために金の物差しを持つてゐた。16 この都は
四角い形で、長さと幅が同じであつた。天使が物差
しで都を測ると、一万二千スタディオンあつた。長さも
幅も高さも同じである。17 また、城壁を測ると、百四
十四ペキスであった。これは人間の物差しによつて
測つたもので、天使が用いたものもこれである。18 都